



JAC北九だより

No. 76 (平成28年 第2号)

公益社団法人 日本山岳会 北九州支部

kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発行:公益社団法人 日本山岳会北九州支部
 支部長 伊藤 久次郎
 事務局: 行橋市東泉3-18-10
 竹本 正幸方
 TEL-FAX 自宅 0930-28-9611
 携帯 090-6739-9251
 編集人: 事務局(森 義雄)
 印刷: 山口県山口市水の上町2-25
 内 藤 製 本 所

5月14日(土)

風師山碑前祭および 平成28年度定時支部総会のお知らせ

1. 風師山碑前祭

◆スケジュール

8:00 門司港駅出発

9:30 横有恒記念碑前集合

9:50~10:30 碑前祭

11:30~12:30 昼食会「ザ・モントンテラス」
(前ブリリアンサ) TEL: 093-322-5550

※昼食代金 パイキング 2,808円(税込み)

13:00~15:00 映画上映「マナスルに立つ」

会場: 旧大連航路上屋2階ホール

(一般公開、無料)

※映画終了後、総会会場までの送迎バスの便あり

2. 第17回通常総会

◆スケジュール

会場: レストラン「ラ・メール雅」

(TEL 0120-81-2989)

1. 受付 15:30

2. 総会 16:30~17:30

3. 懇親会 18:00~20:00

4. 会費 5,500円

5. 締め切り 4月末(別途、案内状のハガキ
に当日の出欠を記入の上、返信の事)

6. 問い合わせ 事務局まで

8月11日(祝)

山の日制定イベント特集

今年から8月11日が山の日として国民の祝日になったことを記念して、山に親しむ機会を増やし、山の恩恵に感謝し、そして美しく豊かな自然を守り、次の世代に引き継いでいくことを銘記するために北九州支部では次のような3つのイベントを計画します。

1. 概要

○ 日程: 平成28年8月3日(水)~9日(火)の7日間
(3日に作品搬入、9日に搬出)

○ 場所: 門司港レトロの旧門司税関ギャラリー

○ 主催: 公益社団法人 日本山岳会北九州支部

○ 後援: 毎日新聞社 ほか

2. イベント内容

(1) 山の写真展

支部会員から自慢の山の写真を展示します。

(2) 山の版画展

支部版画同好会メンバー(20点位を展示予定)
および一般会員による作品を展示します。

(3) 絵画展

支部会員の水彩画、油絵などを展示します。

(4) 山の古道具展

過去に使われた山の古い道具などを展示します。

(5) 山の歴史展

日本山岳会の歴史をパネルにして紹介します。

(6) 北九州支部の紹介と支部会員の募集

支部15年の歩みと活動概要を写真でパネルを作成。それと会員募集の呼びかけを行います。

(7) 風師山とマナスル

地元の風師山は、マナスル登山隊長の横有恒元日本山岳会会長が訪れた山で、現在その記念碑があります。また本年は、マナスル登頂60周年にあたることから、その歴史などをまとめて紹介します。

(8) ふるさとの山に登ろう「家族登山」の開催

8月11日の山の日、ふるさとの山「風師山」へ家族登山を開催します。

(9) 山の相談や自然保護関係、公益活動、講習会などの紹介

※期間中は、会場に1人以上の会員(当番)が常駐し、相談や入会受付にあたります。

以上が計画の概略ですが、会員で出品できる方は、種類、点数などを4月20日までに担当にお知らせ下さい。また資料作りや会場の当番にご協力できる方(特に地元の会員)もご参加のほどよろしくお願い致します。(申込受付 事務局・竹本)

8月11日(祝) 山の日制定記念・ふるさとの山に登ろう！ 今年も登ります「風師山～矢筈山・家族登山」

主催：公益社団法人 日本山岳会北九州支部
後援：毎日新聞社、北九州市(申請中)、
公益社団法人 北九州市観光協会(申請中)

家族登山の概要

- 1 日時：平成28年8月11日(祝日・山の日)
- 2 目的地：北九州市門司区
風師山(364.3m)～矢筈山(266m)
- 3 集合：JR門司港駅前 午前8時45分
- 4 行程：JR門司港駅(9:00発)～風師山岩峰(11:00着)～(休憩)【榎有恒記念碑について参加者に説明】～風師山岩峰(11:30発)～矢筈山(12:30着)～(昼食)【山頂には旧陸軍の堡壘陣地跡が残っており、一部はキャンプ場や展望台として使われ、上水道や水洗トイレも完備されています、当日は、子供を対象

にスイカ割りなどのイベントを行います】
～矢筈山(14:00発)～JR小森江駅(15:00着)

5. 参加費：100円(イベント保険料含む)
6. 参加資格：小学生以上。
但し、中学生以下は保護者同伴
7. 申し込み：
○一般の方は、住所、氏名、年齢、性別、電話番号を記入の上、FAX又はハガキで下記へ
〒800-0028 門司区下二十町4-1-505
丹下洽(FAX&電話093-391-8193)
○会員は、直接丹下会員まで
8. 装備：服装、靴は軽登山に適したものの。帽子、タオル、昼食、飲物(水又はお茶)等。
9. サポート体制：参加者を各班に分け、北九州支部会員がその前後および中間で引率し、事故防止に努めます。

4月17日(日) 英彦山清掃登山のお知らせ

●英彦山清掃登山に参加しよう！！

と き 4月17日(日)

集合時間：午前9時

集合場所：英彦山別所駐車場

行 程：別所駐車場から3コースに分かれて、清掃しながら中岳へ頂上周辺を清掃後、正面登山道を下山予定

携行品：昼食、軍手、ゴミはさみ、ヒモ(ザックにくくりつけるため)

※森林巡視員は腕章持参

ゴミ袋は、添田町役場から提供。

申込み：事務局 竹本正幸 (TEL: 0930-28-9611)

清家幸三 (TEL: 093-963-2160)

締切り：4月11日(月)



昨年の回収後の写真

★★第3期(平成28年度) 指導員研修 参加者募集★★

私たちは、山登りを常に行っています。そしていろいろな山に、いろいろな場面でのリスクがたくさんあります。個々人の経験、知識、その日の天気が複雑に絡み合ってリスクを発生させています。しかしそのリスクを克服し安全に帰宅することが使命であります。

山登りミッションをするために「より安全を目指す」課題があります。そして安全をマネジメントしていく。そういう意識が求められています。

その意識改革をするために支部指導員養成講座が開催され、現在、北九州支部では第1期および第2期の指導員養成講座で13人が指導員として存在しております。

引き続き第3期生の参加者を募集いたします。支部会員、支部友関係なく、さらに経験、年齢、性別も問いません。意識ある方が申し込んで下さい。

なお、第3期より指導員研修に改名しています。第1回講座が、6月5日(日)に血倉ふれあいの家にて開催されます。

申込み先：指導員マネージャー山中 秀正
(携帯080-2754-8370)

申込み締切り：5月26日(木)

年間スケジュールとして、9月4日(日)、11月6日(日)、平成29年2月5日(日)を予定しています。

月例山行 1月17日(日) 鶴見岳(1374.5m) 霧氷の期待はかなわず!

14916 赤瀬 榮吉



写真 鶴見岳山頂

1月17日(日) 曇り山頂小雪

曇り空の中、別府ロープウェイ駐車場に午前8時45分集合。登山準備の後、車を登山者専用駐車場へ移動。清家CLが1週間前の足首捻挫が治癒前のため、急きよSLの私が先導することになり、2班に分かれ午前9時登山開始。登山口付近は砂防堰工事のためロープで区画され安全に通れるよう配慮されていた。しばらく緩やかな登りを進むと社務所前に着く。

ここから、苔むした数百段の石段を滑らないよう用心しながら進み午前9時45分御嶽権現社(火男火売神社)の本殿で休憩をとる。(清家CLは途中で引き返しました)参拝をすませ後続組を待つ。本殿横から登山道を進み林道を横切ると間もなく分岐があり、右へ進み一気登山コースのジグザグ道を登って行く。山頂手前で清家CLから着信があり現在地の確認であった。もうすぐ山頂と返答する。てっきり麓からの電話と思い込んでいた自分。山頂手前の

広場に出ると清家CLの呼び掛けがあり、ロープウェイを利用し上がってきたことに気付く。一緒に山頂まで登り午前11時25分山頂に到着。山頂は風もあり寒く霧氷も眺望もなく、集合写真を撮り足早に由布岳側へ下り食事場所を探すことにした。少し下ったところに風も吹かない平坦な雑木林で昼食をとる。

昼食中に小雪が降り初め、早めに腰をあげ、次の目的地の南平台に午前12時50分に到着。別府湾一帯の眺めがよい南平台も眺望もなく風と小雪混じりで寒く、後続組を待ち素通りすることにした。往路の分岐に出合う標高1000m付近で、小雪が小雨に変わり、傘を片手に一層滑りやすくなった粘土質(黒土)の道と苔むした神社の石段を用心して下り、午後2時30分無事下山しました。

ロープウェイで一足先に下山されていた清家CLから、ねぎらいの言葉があり解散となりました。

4年前(H24.1.24)の山行で、霧氷の景色に感動し、もう一度と楽しみに参加しましたが、今回は、霧氷も積雪、また、眺望もなく残念でしたが、みんなで楽しく登山でき有意義な一日でした。ありがとうございました。

霧氷は次回の計画に期待しましょう!

参加者：18人

会員：CL清家幸三、SL赤瀬榮吉、井上禮子、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、森本信子、大神信生、森義雄、大谷恵美子、奥田スマ子、三浦利夫、町元里香、支部友橋爪久吉、橋爪明代、加藤信子、ビジター：村上正治、廣木秀利

月例 ポレポレ山行 1月21日(木) のんびり歩き 寅の四王司山行記

11990 原 広美

平成28年1月21日 天候：晴れ

午前9時10分JR長府駅にて12人集合。

今日の登山は山頂で四王司神社9日初寅次、二寅の祭事に合わせての ゆっくり登山でした。

午前9時30分駅出発、住宅地を通り抜け午前10時石鎚神社登山口へ。遥拝所で衣服調整を済ませ不揃いの石段で汗をふきながら山頂までひたすら登る。山頂では笹に寅をくくりつけた縁起物が売られていたので私も1年の無病息災を祈ってザックに取りつける。お神酒を頂きその後、中央分水嶺のとき確認した三等三角点が藪に隠れていたのが皆さんに紹介する。また下山中これが中央分水嶺の尾根だよと説明するが多くの人がわかったような?わからないような?時の流れを感じる。昼食を楽しみに長府毛利藩最後

の居城、勝山城社に午前12時30分下山。

このグループの楽しみでもある山半分、グルメ半分予約していたお好み焼き屋さんへ直行。本日の反省会をする。解散の前、皆さんにご案内したいところがあり3台の車に乗り合って高杉晋作が奇兵隊を結集した国宝功山寺へ行く。山門には当時の心意気をみせた刀傷が今でも深く残っている。あっという間に時間が過ぎ長府駅まで皆さんを見送り午後3時解散した。

参加者：12人

会員：CL丹下洽、丹下香代子、伊藤久次郎、関口興洋、大谷恵美子、奥田スマ子、原広美、町元里香、支部友：藤原玲子、松田幸恵、ビジター：藤田、河野健一

月例 ポレポレ山行 2月25日(木) 門司往還・大里宿 古き歴史の大里宿を歩く 14264 丹下 洽

2月25日 晴れ

昨秋、「山の文化展」を門司駅北口、赤レンガブレイスで行うべく準備をしていた。

その折、北九州支部の行事であるから長崎街道・門司往還・大里宿を来場の方々に案内したらと支部長と検討していたが、会場の都合で今秋に延期となった。しかし、折角の企画だったので、ポレポレ山行で歩くことにした。長崎街道は長崎～木屋ノ瀬～黒崎～小倉を経て、門司口より現在の199号線沿いに大里～田の浦へ通じていた。他にも、中津口(10号線沿い)、香春口(322号線沿い)、当時の呼称が残っている。また、徳川吉宗に献上された象が長崎街道を歩き、大里港より船で赤間ヶ関(下関)に渡り、江戸までに歩いたとの話もあり、現在ではシュガーロードとも呼ばれ、この街道を通じて甘味が広まったと言われている。

門司駅より「柳の御所」を訪れる。源氏に追われた平家が安徳天皇の御所を構えたところで内裏が大里となったといわれ、周辺には平家縁の地名が多い。ここには「大里郷土資料館」があり、事前に連絡しておいたため、詳しい話を伺え、有意義な一刻となった。大里宿の絵地図をルームにも展示していますので、古地図を手に昔の街道を歩いてみてはいかがでしょうか。

他にも多くの史跡があるが、紙面の都合で省略します。付け加えるならば、大里宿の北にある西生寺は踏み絵などとして大里村民の踏み絵を行っており、

「判行寺」と印されている。かつて、大里湊は参勤交代の折、九州の大名の八割がここから下関に渡り、陸路を江戸へ向かったという。

「大里町宿じゃといやるの茶煎竹ほどないまちを、茶煎竹ほどのまちやなれど、諸国大名みなおつき」(杵嶋き唄)

終了後、アルクでバイキングの昼食をいただきながら、今後のポレポレの活動について参加者で意見を交換した。

P S

残念なことに小倉戦争で大里宿は兵火がおよび、当時を偲ぶものはない。2月28日高島会員のお誘いをいただき、梅見に伺った折、小倉戦争の激戦地である金辺峠の戦いで、小倉藩を死守した家老島村志津摩の顕彰碑を訪ねて旧金辺峠へ登ってみた。

小倉より金辺峠を抜け、田川方面へ行くと左に標識が建っている。脇道を1.2km、車道の終点より120m登れば金辺峠です。「従是北企救郡」「従是南田川郡」と記した国境石が建っています。

参加者：13人

会員：C L 丹下洽、丹下香代子、井上禮子、伊藤久次郎、関口興洋、原広美、縄田正芳、奥田スマ子、町元里香

支部友：藤原玲子、松田幸恵、

ビジター：岡本舜、河野健一

スキー山行記 1月19日(火)～22日(木)

思い出の蔵王温泉スキー場の山頂地蔵を拝む

15387 森 義雄



今年の冬は雪が少なく、年明けの中旬まで雪が全国的にない状況でした。支部でもスキーの講習会を計画

しましたが残念ながら参加者がいないので、昔のスキー仲間を誘って蔵王温泉スキー場へ19日から22日まで行きました。運よく、週初めから雪が降り、パウダースノーとなりました。

蔵王温泉スキー場今回で3回目、前回はJRグルー

プのスキー競技大会で滑りましたが、その時は大会スケジュールで忙しく、全てのグレンデを滑ることができませんでした。

今回は、以前から滑りたいと思っていました待望の横倉の壁(38度)をはじめ、すべてのグレンデをくまなく滑ることができました。蔵王温泉スキーは、グレンデが長く標高差もあり競技でも使うことが多く、変化に富んだコースがあり十分楽しむことができます。昨年は、安比高原スキーでしたが、東北のスキー場はどこも雪質が良く、景色もよいのが特徴です。

来年は、支部の方を誘い、上越あたりのスキー場に行く予定です。

参加者：3人

会員：森 義雄、

ビジター：田中義二、藤井孝明

個人山行 2月6日(土)～7日(日) 大船山(1786.2[㍎])

楽園の大船山に登る!

14079 内藤 正美



写真 大船山山頂

2月6日(土) 晴れ

大船山山頂直下の御池の氷結を楽しみに2月6,7日登山の計画を立てました。山口から4人、北九州から3人が午後2時小国の道の駅で合流しました。

天気予報では曇り時々雪とのことで、6日の夜は沢水キャンプ場をやめ、長湯の丸山公園まで足を延ばし東屋の中でテント泊。夕食は参加できなかった小林さん差し入れのアンコウで鍋にする。温泉にもつかり満ち足りた気分全員大喜び。深夜には予報に反し満天の星空、オリオン座がきれいだった。

2月7日(土) 雪のち曇り

翌朝午前5時起床、昨晚の鍋に餅を入れ雑煮で腹を満たす。日の出はまだだが、明けの明星が輝いている。昨日登山口の様子を調べるため、板切、ガラン台、今水に寄ったが、駐車しやすい今水に午前7時着。すでに4台止まっている。話をするとほとんど同時に到着したらしい。中の一人の話では先週も登ったのだが、御池の氷結が少し溶けだしていたが、今日は大丈夫だろうとのこと。期待しながら、東尾

根に登る。朝日に細かい雪が光りながら落ちてくる。

女性メンバーから歓声があがる。足元は、凍結した上に1,2[㍎]の雪がある。歩きやすい。登るにつれ4,5[㍎]になるが快適に歩く。最後の急登から山頂部に入ると10[㍎]程度の雪。先行者の踏み跡があるので池まで難なく午前11時到着。先ほどの人が、池の中央から手を振る。先行した人たちが今までガスっていたが、私たちの到着と同時に晴れてきたと話しかけてきた。晴れ男だと自慢していると紺碧の青空となる。池の周囲の木々が付着した雪で満開の花のようで、モノトーンの世界が広がっている。気温は低いものの風もなく穏やかなので、その場でピザとコーヒードで昼食をとっていると陽が差し始め、満開の白い桜が輝いているようで居合わせた20人ぐらいから大歓声があがる。大分から来た若いグループはそりを出し池の上を滑って遊んでいる。帰りの時間もあるので後ろ髪をひかれる思いで、山頂に向かう。真冬には珍しく風がない。遠くの山はガスってはいるが、目の下の坊がツルには雪がない。この冬はやはり雪が少ないようだ。入山公墓を經由して下山。次第にくもり空になり、冷えてきはじめたが、雨にはならなかった。かなりの距離があり、駐車場には午後3時到着。今年初めての九重は上機嫌だった。年末年始の祖母山、初登山の宮島と今回で三連笑、晴れ男が復活したかもしれない。

参加者： 7人

会員：CL内藤正美、吉田克己、森義雄、
大谷恵美子、清家幸三、

支部友：加藤信子、ビジター：藤本和代

個人山行 2月11日(祝) 十種ヶ峰(988.8[㍎])

積雪を踏み大展望の頂へ

15616 奥田スマ子

行程

神角登山口(9:30)～肩の広場～十種ヶ峰
山頂(11:30)～山頂出発(12:40)
～山シャクの谷経由～神角登山口(14:20)

2月11日(祝) 天候：晴れ

「山口県の山は展望が良い」と聞いたことがある。月例山行に山口県の十種ヶ峰が予定されていた。早速申し込み山行を楽しみにしていた。ところが、

1月24日山行当日はあいにくの悪天候。九州を中心に西日本各地は猛烈な寒波に襲われたのである。交通網も乱れ山行は中止となった。

しかし、どこか諦めきれない気持ちがあったのかもしれない。それが私だけではなかったようで、個人山行として復活したのである。

山口県庁を出発。国道9号線を北進し長門峠を過ぎると前方に十種ヶ峰が見えてきた。別名「長門富士」。その姿は秀麗ですばらしい。



写真 十種ヶ峰山頂

山間部の集落にはまだ雪が残っていた。

登山口を出発の時、「雪があれば楽しみながら登りましょう」と赤瀬CLの言葉かけがあった。出発してしばらく雪は無かったが、登るうちに徐々に増えて「肩の広場」辺りでは一面真っ白になっていた。そして、山頂直下では展望も開け眼下に神角地区、遠くには萩沖に浮かぶ島々が見えている。さらに山頂に到着すると360度の大展望が広がっていた。山口県の山は展望が良いというのは本当だった。

私たちは春のような暖かい山頂で展望や食事を楽しみ、スノーシューやワカンを装着して雪山歩きを

体験した。私も初めてスノーシューで歩いた。

下山は「山シャクの谷」へ向けてヤセ尾根を下る。谷は深い雪で覆われて一段と真っ白だった。尻セードで斜面を滑る人もいて楽しそう。私も真似して初めて尻セードで滑ってみた。

春はこの谷を山シャクヤクの花が埋めつくすという。この景色もぜひ観てみたいと思った。山シャクヤクの頃は登りの一方通行になり登山者でにぎわうらしい。

今回天气に恵まれ、仲間を支えられ冬の十種ヶ峰を楽しみました。赤瀬CL、内藤SLには山行を再計画して頂き有り難うございました。いつも多くの方の支えで楽しく山行ができることに感謝いたします。

参加者： 12人

会員：CL赤瀬榮吉、SL内藤正美、榊俊一、大内喜代子、竹本正幸、竹本加代子、森本信子、縄田正芳、歳弘逸郎、大谷恵美子、奥田スマ子、町元里香

個人山行 2月23日(火)~24日(水)

福寿草の岩宇土山~上福根山 14852 竹本 正幸

行程

農家民宿「宮園のお宿」6：10~久連子登山口
6：35/6：45~鍾乳洞8：10~岩宇土山8：45~
林道9：13/9：20~上福根山9：45/10：00~
林道10：20/10：30~白崩平分岐10：45~
白崩平11：10/11：50~久連子登山口12：35

(一言コメント)

15616 奥田スマ子

秘境として知られる宮崎県五家荘。遠い存在だけに待ち望んでいた山行でした。アクセスも難路、久連子からの登山コースも急斜面、ガレ場多く、踏み跡がわからないところもあり難コースだったけれども、上福根山の山頂に立てたことは幸せでした。

山頂は樹氷でとてもきれいでした。そして、白崩平の福寿草も陽ざしの中可憐に咲き春を告げていました。仲間との語らい、芋煮鍋の味、稜線から見た五家荘の山々など、楽しかった。山旅として私の記憶に深く刻みこまれることでしょう。



写真 上福根山山頂

14852 竹本正幸

脊梁の山、五家荘の山、最高の山です。上福根山は樹氷で冬の装い、白崩平では、春を告げる福寿草が満開。登山口までのアプローチは、ゴロゴロした落石で車の底が接触、パンクの心配、皆で石を側道に払いながらの走行と簡単には行きません。別の意味での困難を乗り越えての山行でした。

14853 竹本加代子

近くて遠い脊梁の山に塚本CL計画のもと、やっと登ることができた。1日目の白鳥山は通行止め。

白鳥山から山犬切へ変更するも途中難路のため中止を余儀なくされたが、五木村での民泊はリーズナブルで美味しい芋鍋とお酒と山談義に花が咲く。あっけなく通過の岩宇土山山頂、それより300m高い上福根山は思いがけず積雪と樹氷に感動。下山する頃には青空に恵まれ、優しい日ざしがふりそそぐ福寿草に目を細めた。元気を貰った山行に感謝。

15646 塚本久嘉

迎鳥帽子山の第2駐車場が出来て以来福寿草は、迎鳥帽子山ばかりで岩宇土山は久しぶりでした。白崩平で福寿草に出会え、綺麗な写真を撮ることができました。上福根では思わぬ雪景色も見られ、楽しい一日でした。

13523 井上禮子

岩宇土山から上福根山は平成17年3月に登りました。当時は山頂直下、スズタケに覆われた登山道には鹿よけネットが張られており、ササをかき分けながらの山行でした。目の前に大きな鹿の頭蓋骨がネットの支柱先端に乗せられており顔を背けて通り過ぎました。今でもその光景が目に残ります。今回はササも無くすっきりした登山道でした。これも鹿の害によるものですね。上福根山登山口で私はリタイア。白崩平で福寿草を愛でオコバ谷から林道へ。

素晴らしい仲間に恵まれ11年前を思い出しながらの山行でした。

参加者： 5人

会員： CL塚本久嘉、井上禮子、竹本正幸、
竹本加代子、奥田スマ子、

森林保全巡視員の一齐巡視(植物の観察会)の開催について

13533 磯野文雄

立花山グリーンガイドの会の方々と合同で植物の観察も行いますので、山野草の研修になるかと思われまます。巡視員以外の方もご参加くださいますようお願いいたします。

記

1. 日 時： 6月12日(日曜日)午前11時～午後3時
2. 場 所： 平尾台(四方台、広谷湿原)
3. 集 合： 午前11時に平尾台自然観察センター
駐車場に集合
4. コース： ① 駐車場～茶ガ床～中峠～四方台～
大平山～駐車場
② 駐車場～茶ガ床～中峠～広谷湿原
～駐車場

5. 申込み： 平成28年5月15日までに磯野まで
6. その他

①雨天の場合は中止。

②各自、日帰り登山の装備、雨具。

③筆記具、弁当は持参のこと。

④参加申し込みは、コースを決めてから、
磯野文雄(午後5時以降に連絡：
携帯：090-4989-5961)まで

3月12日 池田智彦会員 公益財団法人福岡県体育協会表彰を受賞



3月12日、福岡市の福岡リーセントホテルにおいて、平成27年度公

益財団法人福岡県体育協会の表彰式が行われました。

毎年、本県スポーツの普及振興に功績のあった個人・団体が福岡県体育協会から表彰されます。

今年は当支部池田智彦会員が永年の功績を高く評価され、受賞しました。池田会員は福岡県スキー連盟の要職を歴任し、現在でも登山を通じて地域の青少年の活動育成を行い、またバトミントンの指導にもあたられています。

文責：森 義雄

投稿 登って登って! 三百名山完登記

13819 太田 満



紅葉には数日早い平成27年10月12日、三百名山最後の山として、残っていた雲仙普賢岳の山頂に立った。雲が多かったが、爽やかな風が吹いていた。

二巡目の百名山を完登したのが平成20年10月。

その翌年10月は、二人の友と東北のヤマを5座登り、紅葉を満喫した。そして次は、161座残っている三百名山を踏破しようと決めた。

まずは、難峰、そして遠方の北海道からと計画した。登山道のない山が5座あり、それらのヤマは藪が雪で埋もれている4~5月が登山適期と知った。

平成22年5月、一番の難峰と思われる北陸の笈ヶ岳を目指した。雪中幕営の予定だったが、別ルートが開拓されており、途中からピッケル、アイゼン着用し、登り5時間、下り4時間で日帰りできた。山中無人でルートファインディングが大変だった。この年は北海道、北アルプスなど19座踏破した。

平成23年は南アルプス、東北など23座踏破した。その中では以東岳が良かった。怪魚タキタロウが棲息する大鳥池を眼下に眺め、周回コースを登り5時間20分、下り4時間かかった。

平成24年は、北海道、東北、関東と南下しながら29座踏破した。4月7日北陸の野伏ヶ岳では夜中に20釐の積雪となった。登山中止を考えたが、出会った一人のスキーヤーのシュプールを途中まで辿り、積雪3釐以上の山頂に登れた。

平成25年は5月に雪山を3座、そして秋には24座の頂を踏んだ。その中で、毛勝山は高度差1700釐の登りなので気合を入れて臨んだ。山頂からは、劔岳の北斜面の眺めが良く、5年前に縦走した北方稜線を懐かしく回想した。登り4時間45分、下り4時間かかった。

平成26年は春・秋の山行で48座。秋には天候に恵まれ、26日間連続で登れた。その中では、北アルプスの奥深い赤牛岳が思い出深い。9月27日、木曾御岳山が噴火した時は黒部ダムの平ノ渡しで船に乗っていた。翌日、幕営地の奥黒部ヒュッテ前から赤牛登山は、登り5時間30分、下り4時間10分。噂とおり、読売新道はきかった。

そして、平成27年、残り15座を登り終えた。南アルプスの甲斐駒ヶ岳に連なる鋸岳は、往復6時間の林道歩きもあり、梅雨明けの暑さでバテバテの登山だった。

最後に私の一番の山は、北海道の日高山脈。どの山も登山者が0~5人と少ない。特に、カムイエクウチカウシ山が面白い。2時間の林道歩きがあるが、登山ルートを見失うまいと、赤テープを探してキョロキョロ、膝までの数回の徒歩、流木で焚き火をしての快適な幕営。翌日は、恐竜の背のような尾根を、眼下に左右のカールを眺め、足元のハイマツをかき分けて登ると、山頂には絶景が待っていた。



太田 満 会員の 三百名山の歩み

◆平成20年(9月26日～10月27日)

H20.10.28阿蘇高岳で2度目の百名山を達成!

○二百名山

樽前山、白神岳、森吉山、秋田駒ヶ岳、姫神山、船形山、大崩山

◆平成21年(10月12日～16日)

H21年、三百名山踏破を始める。

この時点で残り161座未踏

○二百名山

神室山、和賀岳、焼石岳

◆平成22年(5月、6月、8月、9月2日～10月8日)

5度遠征し、三百名山は、19座踏破。

○二百名山

笈ヶ岳、三嶺、東赤石山、雪倉岳、金剛堂山、ニベソツ山、石狩岳、ペテガリ岳、カムイエクウチカウシ山、芦別岳、天塩岳、暑寒別岳、駒ヶ岳、夕張岳

○三百名山

朝日岳、神威岳、オプタテシケ山、ニセコアンヌプリ、余市岳

◆平成23年(5月、8月、10月4日～11月16日)

4度遠征し、三百名山は、23座踏破。

○二百名山

笈ヶ岳、大無間山、机差岳、以東岳、二王子岳、御神楽岳、守門岳、荒沢岳、中ノ岳、八海山、仙ノ倉山、桜島

○三百名山

篠山、三本杭、山伏岳、祝瓶山、一切経山、大滝根山、摩耶山、太平山、栗ヶ岳、浅草岳、高隈山

◆平成24年(4月、9月13日～10月5日)

2度遠征し、三百名山は、29座踏破

○二百名山

帝釈山、女峰山、榛名山、浅間隠山、妙義山、荒船山、位山、大日ヶ岳、能郷白山、氷ノ山

○三百名山

野伏ヶ岳、ニセイカウシュツペ、狩場山、大千軒山、五葉山、泉ヶ岳、二岐山、八溝山、荒海山、七ヶ岳、高原山、太郎山、架娑丸山、

鉢伏山、白木峰、川上岳、鷲ヶ岳、冠山、経ヶ岳

◆平成25年(5月、10月7日～11月3日)

2度遠征し、三百名山は、27座踏破

○二百名山

毛勝山、戸隠山、飯縄山、黒姫山、会津朝日岳、白砂山、有明山、武奈ヶ岳

○三百名山

景鶴山、男鹿岳、猿ヶ馬場山、青海黒姫山、米山、金北山、焼山、鎌崎山、奥大日岳、斑尾山、朝日岳、三方岩岳、大門山、大笠山、人形山、医王山、蓬莱山、比叡山、愛宕山、

◆平成26年(5月、9月29日～11月1日)

2度遠征し、三百名山は、48座踏破。

10/7から11/1まで26日間連続で踏破。

○二百名山

金剛山、伯母子岳、釈迦ヶ岳、御在所岳、赤牛岳、餓鬼岳、霞沢岳、鳥甲山、佐武流山、岩管山、武甲山、御座山、茅ヶ岳、御正体山、三ツ峠山、乾徳山、白石山、大岳山、愛鷹山、七面山、毛無山、櫛形山、池口岳、三瓶山

○三百名山

大和葛城山、護摩壇山、山上ヶ岳、竜門岳、高見山、三峰山、俱留尊山、藤原岳、六甲山、横手山、笠ヶ岳、諏訪山、入笠山、黒岳、国師ヶ岳、三頭山、大山、金時山、箱根山、高塚山、熊伏山、黒法師山、奥茶臼山、南木曾岳、

◆平成27年(5月、7月、10月)

3度遠征し、三百名山15座踏破。

○二百名山

上蒜山、鋸岳、安平路山、天狗岳、経ヶ岳、小秀山、雲仙岳、

○三百名山

吾妻山、道後山、岐山、扇の山、盛山、アサヨ峰、越百山、奥三界山

H27.10.12

雲仙岳で日本三百名山を達成!

上記踏破の山は、平成20年以降の記録であり、それ以前に踏破した山もあり、それを含めて三百名山の踏破となりました。

投稿

「新日本山岳誌」に載らない陶ヶ岳

11454 井上 佑

山岳の選定は本部が行い、地方の実情は分からないので、標高が低いため選に漏れたのである。しかし、県内一番のロッククライミングの優秀な花崗岩の岩場を有する山々を見逃すわけにはいかない。

所在地は山口市である。古代では吉敷郡湯上庄(かたがみのしょう)。弘仁13年(822年)、長門長府から鑄銭所が湯上に移転し、鑄銭司村(しゅぜんじむら)と呼ばれる。天慶3年(941年)には藤原純友に鑄銭司を焼かれるが、累計150余年の事業が行われた。その後、西側に須恵器を焼く登窯(国指定史跡)が設けられ、陶業が盛え陶村と称された。

陶ヶ岳(すえがたけ)を含む山塊は3km余と南北に長く、向山連峰と呼ばれていた。西側は山口湾であったが、中世には潟になり、近世には花崗岩が切出され護岸に使われ干拓された。

江戸時代の『防長地下上申』等には、北から、岩屋山・観音山(禅宗岩屋寺観音堂が在った、陶ヶ岳)・姫山(火の山)・三神宮之頭・梅ノ木山・日の山(亀山)と続いている。この山塊が、鑄銭司村・陶村・名田島村・二島村の境界になる。鑄銭司は靖国神社の銅像大村益次郎の生誕地である。

陶ヶ岳は、ここを中心として北側のピーク5つの総称であり、名田島村は陶村から派生したので幕末頃に「陶ヶ岳」と呼んだ。観音山のクライミングロックは鑄銭司村に属し、西側は名田島村になる。

藩主毛利敬親は、安政5年(1858年)陶ヶ岳の東斜面を含む南原一带を本草医松永周輔に与え薬草園を開かせる。松永はシーボルトに薬草を送ったが乾燥不足でカビが生えていた。この観音山東斜面を含む向山連峰は、大雨の度に土石流が発生し、真砂土を流し岩壁が現れた。

姫山(304m)が鑄銭司・名田島・二島の三村の境界で、南側は二島村(ふたじまむら)になり、明治32年に陸地測量部は測量。36年地形図のここに「火の山」と記した。聞き取り調査でヒメヤマを、ヒノヤマと聞き違いしたのであろう、大失態をしてしまった。三等三角点名は「向山」で問題はない、この南に西麓の名田島開作の鎮守三神

社に因む「三神之頭」と、東麓の梅ノ木峠から上がった「梅ノ木山」のピークが在り、最南端が「日の山」である。

天智天皇の頃(665年)山口湾で隔てた東岐波・阿知須の「日の山」と同様に、壱岐を出発した烽火が飛鳥の都まで通じた、その一端であり「火の山」になる。沿海を通じるため、南端でなければならぬし、鑄銭所から日の山の烽火を目視できる。

火の山を「亀山」と『防長百山』に記した故安倍正道氏に問い合わせたところ、間違いで何の根拠もないとの返答のはがきが来たが、彼の手で「日の山」と訂正されずに亡くなられた。南東の防府市境の「亀尾山(大海山325m)」と混同したものが。

近代登山は遅く、昭和23年3月であり、松永周輔氏から招待され、下関山岳會の8名が登山して、若山武雄が陶ヶ岳岩壁の、初登攀をした。5月も陶の岩登りで、7月は県下の登山団体を集め、下関の天幕を総動員しキャンプをした。9月18日には山口県山岳連盟の発足式を行い、翌日は勝間と若山の指導で岩登りの基礎を習得した。国民体育大会山岳予選の多くは陶ヶ岳を中心に実施され、岩壁の「国体ルート」はポピュラーなものになった。学科試験は聾学校教室で、松永邸座敷で採点集計を行ったこともある。以来多くのクライマーを生み、ヨーロッパアルプスやヒマラヤ高峰の登攀を成した人も多い。重廣恒夫新監事も高校生の時から足繁く通った一人である。写真は明治35年頃迄の山名を入れた。



◇◇月例山行のご案内◇◇

支部会員、支部友会員による県外山行(北九州支部エリア外)は「登山計画書」を必ず事務局に提出しましょう。

4月の山行

● 祖母山(1756㍍)～傾山縦走(1605㍍)

リーダー：縄手修・歳弘逸郎

と き：平成28年4月29日(金)～5月1日(日)

集合場所：道の駅「メタセの森」

集合時間：午前7時

行程：メタセの森～上畑登山口～傾山～つづら越
小屋～祖母山～九合目小屋～大障子岩～
前障子岩～上畑登山口

携行品：ツェルト、雨具、シュラフ、マット、他

申込み：縄手修(携帯090-2854-3149)

締切り：4月15日(金)

:

5月の山行

● 四王司山(勝山三山)

リーダー：大内喜代子

と き：5月8日(日)

集合場所：JR新下関駅前

集合時間：午前8時10分

行程：約4時間30分

携行品：一般登山装備一式、昼食、行動食、
手袋、他

申し込み：大内喜代子(携帯090-4695-5842)

締切り：4月28日(木)

● 第1回山岳専科

リーダー：三浦利夫、サブリーダーは調整中

と き：5月15日(日)

集合場所：血倉山ケーブルカー山麓駅駐車場

時間：午前9時集合

会場：血倉山ビジターセンター

内容：全体説明・装備・歩き方・その他

装備品：通常登山装備一式・筆記具・昼食

申込み：三浦利夫(携帯090-2850-6020)

締切り：5月8日(日)

※集合場所・時間については、当日周辺地区でウォー

キング大会等により駐車場が規制されるため後日連絡

● 英彦山山開き

リーダー：榊俊一

と き：平成28年5月28日(土)～5月29日(日)

集合場所：英彦山青年の家

集合時間：前夜祭参加者＝5月28日午後3時

：当日参加者＝5月29日午前8時

行程：青年の家～北西尾根

携行品：登山用具、雨具、その他

申込み：榊俊一(携帯090-8416-4194)、

縄手修(携帯090-2854-3149)

締切り：5月13日(金)

6月の山行

● 牧ノ戸～扇ヶ鼻(1698㍍) くじゅう

リーダー：縄手修

と き：平成28年6月2日(木)

集合場所：牧ノ戸駐車場

集合時間：午前9時

行程：牧ノ戸登山口～扇ヶ鼻往復

携行品：登山道具、昼食、雨具、その他

申込み：縄手修(携帯090-2854-3149)

締切り：5月23日(月)

● 第1回指導員研修

リーダー：山中秀正

と き：6月5日(日)

集合場所：血倉山(ふれいあいの家)

時間：午前9時

行程：血倉ふれあいの家

携行品：一般登山装備及びクライミング装備、
昼食、筆記道具他

申込み：山中秀正(携帯080-2754-8370)

締切り：5月26日(木)

● 阿蘇烏帽子岳(1337㍍)・杵島岳(1326㍍)

(マイクロバス利用し、現地まで向かいます)

リーダー：赤瀬榮吉、山中秀正

と き：6月12日(日)

集合：午前7時30分 JR赤間駅南口

参加費：3,000円(マイクロバス代)

参加人員：20名(先着順)

行程：草千里～阿蘇烏帽子岳～杵島岳周回コース

*地図読みをします。コンパス携行下さい。

申込み：赤瀬榮吉(携帯090-7475-9748 or E-mail)
 締切り：5月13日(金)
 ④マイクロバス手配の関係で申し込みは、1ヶ月
 前です。ご留意願います。

- 岩登り教室(平尾台) ※装備が必要です
 と き：6月19日(日)
 集 合：午前8時30分 平尾台茶ガ床園地
 場 所：平尾台唐手岩
 行程：茶ガ床～唐手岩(岩登りトレーニング)～
 茶ガ床(15:00)
 装備：一般装備、ヘルメット、ハーネス、カラビ
 ナ、シュリング、エイトカン、確保器、
 クラインミングシューズ、昼食、飲料水、
 他、 共同装備：ロープ(50m×2本、40m×1本)
 申込み：竹本正幸(携帯090-6739-9251)
 締切り 6月12日(日)



- 内住峡沢登り
 日 時：7月3日(日)
 場 所：内住峡(飯塚市)
 集 合：午前10時 九郎原駅(篠栗線)
 装 備：沢用シューズ、ヘルメット、ハーネス、
 カラビナ、シュリング、保温ウェア
 申込み：竹本正幸(携帯090-6739-9251)
 締切り：6月26日(日)

- 第2回山岳専科
 リーダー：三浦利夫、サブリーダー藤井信義
 と き：7月10日(日)
 集 合：血倉山ケーブルカー山麓駅駐車場
 時間：午前9時集合
 会場：血倉山ビジターセンター
 内容：読図・登山計画書・その他
 携行品：通常登山装備一式・コンパス・定規・
 分度器・筆記具・昼食
 申込み：三浦利夫(携帯090-2850-6020)
 締切り：7月3日(日)



月例

◇◇ポレポレ山行のご案内◇◇

野の花を愛で、史蹟を巡り、
 のんびり山歩きを楽しみませんか

担当：丹下 洽

今年は年間を通じて計画しました
 ゆっくり鑑賞しながら歩きます

- 4月28日(木) 平尾台
 春の野の山(オキナグサ他)
 地形図(苅田)
 - 5月19日(木) 万年山(大分県)
 ミヤマキリシマ
 地形図(豊後森、豊後中村)
 - 6月5日(日) 平尾台
 ヤマトツツジ
 地形図(苅田)
 - 7月21日(木) 岳切溪谷(耶馬溪)
 川歩き
 - 8月20日(土)～21日(日) 矢筈山
 暑気払い
 地形図(小倉)
 - 9月以降の日程(予定)
 9月8日(木)、10月20日(木)、11月17日(木)
- ◆集合時間や行程についての問い合わせ先
 丹下洽(携帯090-3732-8843)

なお、山行計画リーダーは、丹下洽
 会計は町元里香、連絡は森義雄となりました。



【予告】 山の日制定記念 夏山フェスタin福岡2016

15624 三浦 利夫

いよいよ、2016年から8月11日が「山に親しむ機会を得て、山の恩恵に感謝する」ことを趣旨として「山の日」に決定、施工されることになりました。これを記念し、登山愛好家の裾野を広げる好機として、山に親しみ、理解を深めてもらうイベントを実施することになりました。

- 名称：夏山フェスタin福岡2016
- 期日：6/25(土)・6/26(日)
- 会場：福岡タワー(多目的ホール)
福岡市早良区百地
- 主催：夏山フェスタin福岡2016実行委員会
全国山の日協議会(日本山岳会、日本山岳協会、日本勤労者山岳連盟、日本山岳ガイド協会、HAT-J)、
季刊のぼろ(西日本新聞社)
- 協力：日本山岳会福岡支部・北九州支部、
福岡県山岳連盟福岡支部、
福岡県勤労者山岳連盟、
全九州アルパインガイドクラブ
- 後援：西日本新聞社、朝日新聞社、福岡県、
福岡市
- 講演及びセミナー講師(予定)
 - ・田部井淳子氏(登山家)
 - ・山本正嘉氏(鹿屋大学教授)
 - ・「山の恵みフォーラム」山小屋のオーナーなど
 - ・「山で地図を使ってみよう」地図読みの講座
 - ・「デジカメ選び・山の写真のポイント」
 - ・「登山用品の選び方、使い方ポイント」
 - ・山岳関連団体、自治体関係者による相談コーナー



会 務 報 告

●平成28年3月定例役員会議事録

日 時：平成28年3月2日(水) 18:00~20:20
場 所：当支部ルーム(毎日会館 1F)
出席者：伊藤、日向、板倉、竹本、磯野、大内、
丹下、大木、縄田、池田、森、馬場、
木原
欠席者：縄手、武永

議 題

- (1)会員の異動状況
 - ・通常会員：入会2人(藤井信義、藤井淳子)
退会1人(稲富榮) 76人(75人)
 - ・支部友：44人(46人)、会友：4人
：計124人(125人)
- (2)会費納付状況 支部友：7人未納
- (3)山行・行事報告
 - ・1月17日 鶴見岳(18人)
 - ・1月24日 十種ヶ峰大雪のため中止
⇒2月11日個人山行に変更(13人)
 - ・2月13日~14日指導員研修会(星生山)は、
悪天候のため中止。14日のみ血倉山に変更
(13人)
 - ・2月20日~21日大山冬山訓練は、荒天のため
中止。21日は、三瓶山にて冬山訓練(10人)
 - ・2月26日~29日スキー講習会：
参加者1人のため中止
 - ◆ハイキング同好会(仮称) 丹下リーダー
 - ・1月21日 四王司山(10人)
 - ・2月25日 長崎街道~門司往還(13人)
- (4) 山行・行事計画
 - ・3月5日 山行委員会(16時~)
 - ・3月6日海外登山・遭難対策研究会(3人参加)
 - ・3月13日 黒髪山往復(三浦、畑井)
青螺山~黒髪山(塚本、森)
 - ・3月25日 さいわい幼稚園卒園矢筈山ハイキン
グサポート・園児26人参加(丹下)
 - ・3月27日 北浦スカイライン(森、井上佑)
 - ・4月3日岩石山(山中、畑井)
 - ・4月2日~3日市房山(森、清家) テント泊
 - ・4月9日~10日全国支部懇(越後支部)
3人参加予定
 - ・4月17日英彦山清掃登山

- ・4月23日～24日京都・滋賀支部創立30周年記念式典 4人参加予定
- ・3月22日英彦山トイレ清掃(23日から変更)
- ◆ハイキング同好会(仮称)
- ・3月31日(木)華山⇒狗留孫山に変更
- ・4月28日(木)平尾台

(5)本部提出

1月末平成28年度事業計画、予算計画を本部に提出済。

2月20日平成27年度事業報告を本部に提出済。

4月4日平成27年度会計報告の本部提出期限。

(6)平成28年度支部役員(案)、新任役員は次回役員会までに決定する。

(7)役員を担当

交流委員会 英彦山・トイレ清掃(環境)

英彦山山開き(山行委員会) 山の文化展(伊藤、版画同好会)、「山の日」親子登山(丹下)、スポーツ保険担当(大内)

(8)平成28年度山行計画を3月中に完成(3月5日16時、山行委員会開催予定)

(9)5月14日の碑前祭、上映会、記念講演、総会タイムテーブルの説明(別紙参照)記念講演は中止

(10)総会の議事(案)内容について

1. 平成27年度事業報告 2. 収支決算報告
3. 監査報告 4. 役員改選
5. 28年度事業計画、6. 収支予算、
7. 28年度山行計画
8. 支部年会費は、支部友年会費5,000円、通常会員2,000円に改定する。
9. 月例山行での参加費徴収の件は担当者の印刷代・下見資金として今まで通り徴収する。(金額は担当者が決める)
10. 同好会規程について(別紙参照)
11. 指導員認定書の授与
12. その他

(11)支部友入会について

総会までに入会 今まで通りの会費(入会金1,000円、年会費3,000円)

(12)丹下さん企画山行の位置づけについては同好会とする。同好会名は後日決定。

(13)5月22日体力測定の実体化と協力者の募集「私の安全登山」について(磯野氏投稿)⇒支部報に3回に分け掲載

(14) その他

- ・山の文化展に大谷城さんと槍ヶ岳山荘の穂苅さんより写真出品予定。
- ・確認事項 月例山行車代:35円/増(200増を超えると25円/増)
- ・広島支部との交流登山 10月8日(土)～9日(日)
- ・28年度指導員研修講座受講生は、支部報にて募集する

(15)支部報「北九だより76号」の発行について

- ・3月15日締切り、25日まで校正終了し、4月上旬に送付予定
- ・総会案内はがき、議案書の郵送、年会費振込用紙の郵送については次回検討。

・臨時役員会は4月6日(水)

・次回定例役員会は、5月11日(水)の予定です。

以上

英彦山山頂 トイレ掃除の支部当番 H28年度計画

今年度の英彦山山頂トイレの清掃日は以下の日取りです。会員皆様のご参加協力をお願いいたします。

期日

- ・4月27日(水) ・6月8日(水)
- ・7月20日(水) ・8月31日(水)
- ・10月12日(水) ・11月23日(水)

平成29年

- ・1月3日(火) ・2月15日(水)
- ・3月29日(水)

※参加できる方は、事前に事務局までお申し込みください。

当日、英彦山別所駐車場に午前9時集合し、山頂へ向かいます。



写真は英彦山山頂トイレ

会員の異動

○新入会員など

・通常会員へ

藤井 信義 (NO 15891) (H28年1月)

藤井 淳子 (NO 15892) (H28年1月)

・支部会員

原 容子 (北九482) H27.11月入会

村上 正治 (北九483) H28.3月入会

廣木 秀利 (北九484) H28.3月入会

松田 幸恵 (北九485) H28.3月入会

立石 シマ子 (北九486) H28.3月入会

津島 宏美 (北九487) H28.3月入会

坂本 明広 (北九488) H28.3月入会

三宅 明子 (北九489) H28.3月入会

出水 貴之 (北九490) H28.3月入会

○退会など

・通常会員

稲富 榮 (NO 14699) H28.2月

高城 季美子 (NO 14046) H28.3月

・支部会員

目原 礼子 (北九473)

永井 敏子 (北九478)

山装備などの寄贈

下記会員から支部へ装備などの寄贈がありました。ありがとうございました。ご報告させていただきます。なお、備品は、ルームに保管いたします。

- 1 テント1式 (200号×200号×高さ130号)

寄贈者: 吉田克己会員

- 2 ランタン1個

寄贈者 森本信子会員

- 3 切手シート (郵送用)

寄贈者: 井上 佑会員

緊急連絡先登録票の提出のお願い

昨年から、登山時の緊急時対応のため、「緊急連絡先登録票」の提出をお願いしています。登録票の提出がまだの方は、森までご提出をお願いします。

様式が必要な方は、森までご連絡ください。

メールアドレスは、

tokuyoshimori@jcom.home.ne.jp です。



小倉サロンは
毎月第4週の
水曜日に開催
しています

場 所: 小倉北区魚町「コール天」

申込み: 森義雄 (携帯090-4475-7799)

小倉 サロン

1 4月27日(水) 午後6時から

2 5月25日(水) 午後6時から

3 6月22日(水) 午後6時から

博多 サロン

1. 5月12日(木) 午後6時30分より

・場所: 中央区天神2-6-42 平和楼3階

旬魚旬菜「てんじん」(092-771-9143)

・申込み: 赤瀬榮吉 (携帯090-7475-9748)

携帯電話かショートメールで



居酒屋「コール天」

●小倉北区魚町1-2-23 桧山ビル2F

●TEL: 093-522-0565

●JR鹿兒島本線 小倉駅南口から
中央銀天街方面に向かい徒歩5分
北九州支部は毎月(第4週水曜日)の
サロンでお世話になっています